

# 臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

【1部】

開催日時	令和4年10月26日（水）18:26～18:35
開催場所	茨城県立中央病院 研修棟 A
出席委員名	清嶋護之、鈴木保之、武安法之、狩野俊幸、三橋彰一、菅谷明德、増田淳之、鈴木美加、山下ゆうか、角智美、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><b>継続試験</b> MSD株式会社の依頼による</p> <p><b>議題①</b> 「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p><b>議題②</b> MSD株式会社の依頼による 「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p><b>議題③</b> MSD株式会社の依頼による 「胃癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p><b>議題④</b> MSD株式会社の依頼による 「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p><b>議題⑤</b> MSD株式会社の依頼による 「胃癌患者を対象とした MK-3475 と MK-7902（E7080）の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p>

審議結果： 承認

議題⑥

MSD 株式会社の依頼による

「食道癌患者を対象とした MK-3475（ペムブロリズマブ）と MK-7902（E7080：レンバチニブ）の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦

日本イーライリリー株式会社の依頼による

「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧

日本イーライリリー株式会社の依頼による

「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験－②」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験継続の可否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による

「Elotuzumab の前試験に参加した被験者に対する継続投与試験」

海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した

審議結果： 承認

議題⑩

インスメッド合同会社の依頼による

「嚢胞性線維症を伴わない気管支拡張症患者を対象とした Brensocatib の第 III 相試験」

治験継続の可否について審議した。また治験実施計画書別紙について報告した。

審議結果： 承認

議題⑪	アストラゼネカ株式会社の依頼による 「中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした brazikumab の第 2 相試験」 治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認
議題⑫	アストラゼネカ株式会社の依頼による 「中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした brazikumab の長期安全性を評価する非盲検継続投与第 2 相試験」 治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認
議題⑬	グラクソ・スミスクライン社の依頼による 「慢性副鼻腔炎患者を対象とした GSK3511294 の第 III 相試験」 治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認
議題⑭	キッセイ薬品工業株式会社の依頼による 「KLH-2109 の過多月経を有する子宮筋腫患者を対象とした第 III 相検証試験」 治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認